

◆地域おこし協力隊の業務スケジュール

地域おこし協力隊、青野のスケジュールをやすらぎ亭に、掲示しています。作業予定等を月間予定表黒板に書きこんでいますので通りがかりの際にはまた見ていただけたらと思います。



◆食堂再開打ち合わせ会をしました

2月18日にコミュニティホームを利用した食堂事業のメンバー募集説明会を行いました。説明会では一緒にやっていくメンバーが集まりませんでしたので、現在、何人かの「手伝えるかもしれない」と言ってくれている方と調整中です。

地域のニュース

小学校卒業式

3月16日(金)9時半より、木岐小学校の卒業式があります。全校生徒24人のうち6年生6人が卒業します。今春の入学予定者は残念ながらいないそうです。

◆毎月第2日曜に消防訓練を行っています



2012年より、毎月第2日曜に消防団の消防訓練を行っています。2月は、木岐小学校の消防クラブと一緒に、放水訓練を行いました。初めて、本物の消防ホースを手にした小学生は、みんなで重たいホースを協力して持ち上げて、熱心に訓練に取り組みました。

◆わいわいkikiの取り組み発表されました



3月4日(日)「県南を元気にする地域団体シンポジウム」(徳島共生塾1歩会などが主催)にてわいわいkikiの取り組みが紹介されました。

◆徳島県建築士会で防災の取り組みが発表されました



2月16日(木) 徳島県建築士会「地域防災研究会」例会で、木岐まちづくり協議会の取り組みと防災・減災まちづくりについての木岐地区などの動きが紹介されました

編集後記

東京の友だちが、「魚をさばけないから魚を一匹もらっても実際は困るわ」と言っていました。木岐に引っ越してくる前の私も同じことを言っていたかもしれません。都市部では、最終的に消費される形になって、商品がスーパーにならんでいます。つまり、魚売り場のうち、切り身のコーナーが大半を占めているのです。



木岐に来て思うのは、「本当はなんでも自分でやる方が楽しい!」ということです。魚だって、自分で釣って自分でさばいて、料理して食べるの方が、スーパーで切り身を買ってきて食べるより圧倒的においしいし、本棚だって、自分でトントンカチカチして作る方が既製品を買うより満足感を得られるでしょう。

最近カタの避難小屋の整備に関わらせてもらっていますが、これもまた私にモノをつくる楽しさを教えてくれました。野菜作りも魚さばきも、まだまだ上手にできるとはいい難しいですが、これからもみなさんに教えてもらいながら、なんでもやってみたいと思っております。〈青野〉